



ニュースリリース

平成 23 年 6 月 9 日

千葉大学 環境健康フィールド科学センター

「農林水産省植物工場 千葉大学拠点開所記念式」の開催について

この度、千葉大学では、環境健康フィールド科学センター内に設置された農林水産省植物工場千葉大学拠点を開所する運びとなりました。

今後、植物工場拠点は、植物工場の健全な普及拡大の理念の下、「人と環境に優しい高品質・高収量・計画的植物生産」をテーマとして、国内外の中核的な場として社会に大きく貢献するものであります。

つきましては、当植物工場拠点の開所を記念して、下記のとおり開所記念式を開催いたします。

記

1. 日 時 平成 23 年 6 月 14 日 (火)
開所記念式・植物工場拠点施設見学会 10:30～12:00
2. 場 所 千葉大学柏の葉キャンパス シーズホール
千葉県柏市柏の葉 6-2-1
3. 記者会見 平成 23 年 6 月 14 日 (火) 11:30 から
千葉大学柏の葉キャンパス シーズホール

本件に関するお問い合わせ先
千葉大学環境健康フィールド科学センター
千葉大学植物工場拠点リーダー 丸尾 達
Tel : 04-7137-8000 Fax : 04-7137-8171
E-mail : zao8006@office.chiba-u.jp

千葉大学（学長：斉藤康）は、6月14日に柏の葉キャンパス（柏市柏の葉）において「農林水産省植物工場拠点開所記念式」をとり行う。千葉大学の植物工場拠点は、大学・公的研究機関の中では、わが国最大規模（補助金約13億円、合計床面積1.3ヘクタール、内訳：太陽光型1.0ヘクタール、人工光型613平米、他は共用施設）である。千葉大学の植物工場研究開発は、従来から世界最高レベルであったので、本事業は国内外の注目を集めている。

太陽光型ではトマト（年間目標収量500トン/1ha）、人工光型ではレタス（年間目標75万株）を生産しつつ、実証、展示、研修事業を行う。事業と並行して、企業等との共同研究も行う。（本事業は9つのコンソーシアムで構成され、現時点で企業60社がコンソーシアム・メンバーとして参加している。各コンソーシアムのオーガナイザーは大学教員であり、事業支援と指導を行っている。）参加企業60社はわが国最大規模である。

本事業の特徴は、高品質・高収量および革新的栽培法の確立と同時に、雨水利用、重油暖房機原則不使用、節水栽培、植物残さ利用、夜間電力利用、無農薬・減農薬などによる、省資源・省エネ・環境保全・資源循環・安全・安心に力を入れているところである。また、物質・エネルギーの収支を自動収集・記録し、データベース化し、効率改善に役立てるためのコンピュータ・ネットワークが構築されている。

期待する事業成果は、東日本大地震の復興、日本農業の再生への貢献に加えて、輸出産業の増大、日本の植物工場ブランドの浸透などである。さらには、アジア、乾燥地帯、塩類土壌地帯、極寒・酷暑地帯における野菜生産のリーダーに数年以内になることを目指している。事業が順調に進めば、数年以内に、世界の植物工場研究開発のセンターになると期待される。

併せて、柏市、千葉県および関東以北地域との農商工連携および支援を深めたいと願っている。

なお、本事業の外部支援組織としてNPO植物工場研究会が2010年6月に設置されている。

太陽光利用型植物工場
(1段密植栽培)



太陽光利用型植物工場外観



完全人工光型植物工場
(リーフレタス栽培)



完全人工光型植物工場
(結球レタス栽培)

